

くまのこだより

令和7（2025）年10月1日（水）発行

赤磐市桜が丘東 6-6-704

さくらが丘保育園



丘の上から7

すべり台とジャングルジムが撤去されました。老朽化がすすんだ部分を取りのぞき、ジャングルジムの金属の部分は新園舎の園庭にリニューアルして設置される予定です。

平成23年11月からたくさんのこどもたちの意欲を後押ししてくれた遊具です。

当時どんな遊具にするか試行錯誤し、木の温かさを感じながら、こどもたちの体と心を

育てられるような遊具を設計したのを覚えています。

この後、ジャングルジムは屋根の上で新園舎ができるまでこどもたちや工事を見守ります。

よじ登ったりぶら下がったりの全身運動だけでなく、高さを感じて危険認知をすることも遊びの中で習得していける遊具でした。工事期間中もこどもたちの育ちを支えられるよう、工夫を凝らして、いろいろな動きができる環境を作っていきたいと思います。

花房 由美

すずらんだよい

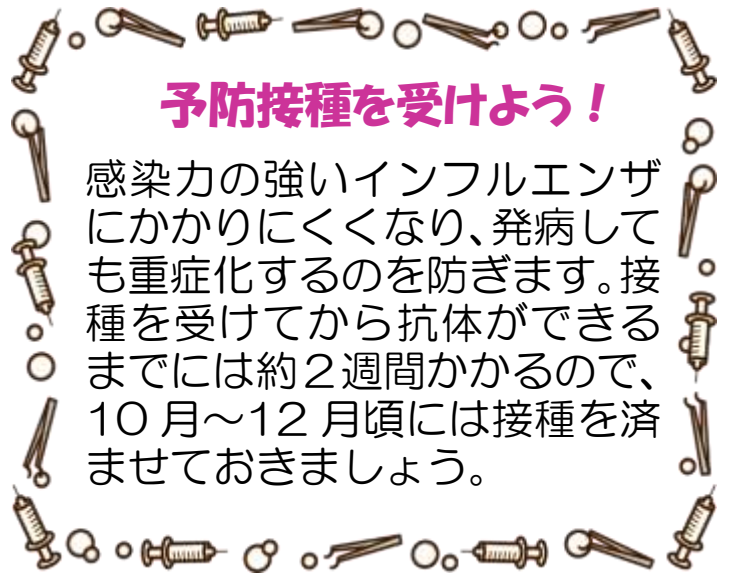
インフルエンザ対策

- ・食事前、帰宅時に手洗い、うがいをする。
- ・バランスのよい食事、睡眠をしっかりとる。
- ・肌着をきちんと着けて、気温に合わせた衣服の調節をする。
- ・部屋の換気をし、人ごみをなるべく避ける。
- ・適度に運動をする。



予防接種を受けよう！

感染力の強いインフルエンザにかかりにくくなり、発病しても重症化するのを防ぎます。接種を受けてから抗体ができるまでには約2週間かかるので、10月～12月頃には接種を済ませておきましょう。



お知らせ

運動靴について

先日の避難訓練の時に、お子さんの運動靴が無く、避難訓練だったため職員が取りに戻りました。緊急時はこどもの靴を取りに戻ることはできません。これから園外保育を行う機会も増えますので必ず**通園用と園庭用の運動靴 2 足の用意をお願いします。**



あそびと身体

そら組

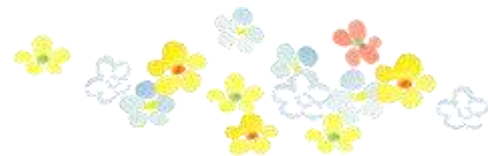


側転や前転の練習をしています。友だち同士で「見て」「回るからそこよけて」と声を掛けながら、マットに向かっていきます。身体のバランスを取り自分が思うように身体を動かせるようになり動きがしなやかになる年齢です。腕と足の力、そして回転するときの目線など全身をより意識している姿を見ているとやはり、年長児のかっこよさを感じます。その子なりに手足、足先を意識することが今のポイントです。

おとなの心配をよそにこどもたちは、どんどんとやってみて、できなかったことが少しずつできていることを実感し、自信につながっているようです。

土屋 勇気

ほし組



ほし組にある赤いマットを2枚出してマット運動を楽しんでいます。現在は4つの技にチャレンジ中で、お得意の鉛筆転がりや前転、そして新しくブリッジと2人組でする手押し車に挑戦しています。

マット運動では、柔らかいマットの上で転がったり跳んだりすることで、筋力や柔軟性、バランス感覚が養われます。また、運動する楽しさを実感し、達成感や挑戦心を感じることで、自己肯定感の向上にもつながります。

部屋の中は広く使えるようにしています。マットの他にも部屋の中で運動器具を用意して運動する楽しさを実感できるようにしたいと思います。

原 万理奈

つき組



リズムあそびを定期的に行っています。

リズムとは、ピアノの音に合わせて身体を動かし、こどもたちの運動神経や感覚神経、脳の発達を促していくことができる運動遊びです。

始めた頃は保育者が伝えながらしていましたが、今では曲を聞いただけで動けるようになっていきます。新しい動きのリズムにも挑戦中です。

「リズムあそびをするよ」と伝えると大喜びのこどもたちです。

青江 仁美



にじ組



部屋に一本橋やバランスストーンなどを並べてサーキットあそびをしています。一本橋は高低差のあるものやとても細いものがあり、バランスを取ることが難しいのですが、手を広げたり、慎重に進んだりして渡っているこどもたち。また、バランスストーンでは床に落ちないように次に着地するストーンをしっかりと見て勢いよくジャンプ。足が床につかないように飛んでいる姿も見られますが、自分たちの行きやすいようにストーンをこっそり動かして距離を縮めている姿も見られます。ばれないようにこっそりと動かしている姿にある意味成長を感じ、笑ってしまいました。トランポリンも人気でいつの間にか10回飛んだら交代というルールもできました。

室内だけではなく、園庭でもたくさん身体を動かして気持ちよさを感じられるといいなと思います。



下山 静菜

はなゆき組



指先が少しずつ器用になってきました。シールを台紙から剥がしたりジッパーを開閉できたりとさまざまな指の動き、使い方を獲得しています。手・指の操作の充実の基礎は足腰、下半身の強さに支えられています。リズム、散歩、斜面登りなど遊びの中で足腰を強くしていく活動を取り入れて、指先の微細な運動機能の発達につなげていきます。

岡村 里恵



ずり這いで移動しています。興味のある物を見つけると目標の物に向かって行き、触れています。進むスピードも速くなり驚いています。友だちが動いていると自分も動いてみようという気持ちになり、一緒に行くことが嬉しく顔を見合わせて微笑み合っています。これから歩行の確立までの間、全身を使って動いて歩行の準備をしていきます。

岡村 里恵

給食室より



皆様ご存知だと思いますが、園の給食、おやつは手作りを基本としています。これは白玉団子を作っている時の様子です。数えた事はありませんが、何百個という数を丸めて茹でています。気が遠くなる様な作業ですがベテランにもなると同時に2個丸める技も持っていたり、手に塊の生地を持ってそこから取って丸めたりと、団子職人さながらです。

梅本 果歩

素敵なお贈り物



保護者の方から素敵なお壁掛けをいただきました。

写真に見えますが、実はお米に色を付け一粒、一粒貼って完成させた物です。あまりの緻密さに感動しました。

お家の方とこどもさんと一緒に作成したそうです。

今は、事務室へ飾っていますが新園舎が完成したのちにはみなさんが見える場所に飾ろうと考えています。楽しみにしててください。

そらキャンプ



9月11日～12日に国立吉備少年自然の家（吉備中央町）へ行ってきました。キャンプでの約束は、「自分を大切にしよう、自分の身体は自分で守ろう、自分の事は自分でしよう、友だちをつくろう」の4つです。二日間で、こどもたちは親元を離れて共同生活を体験することや自然の中で多様な直接体験を通して、少し大きくなったように思います。キャンプを終え「また行きたい」「26人全員が行けてよかった」という声がありました。

土屋 勇気





工事状況



9月10日



9月18日



9月23日



9月30日

